

戊辰戦争150年

土方歳三の『物語』を紡いで...



来たる2019年に「戊辰・箱館戦争終結150年」を迎えるに当たり、記念事業として本年5月出版される小説集『群(ぐん)華(か)―土方歳三と巡る人々』は、幕末の激しい時代の流れの中に、信念のままに生き抜いた土方歳三と、彼の周りに生きた人々の想いや、その歩みを通して歴史の意義を問い直すものです。

著者である萩尾農氏が、「歴史読み物書き」としての立場から、伝わる史料や逸話に息を吹き込み、歴史上の人物を復活させながら、「歴史」に於ける人の物語を語ります。

講師：作家

萩尾 農氏

東京都出身。

高校生の頃より文章を書き始め、アマチュア演劇集団に於いて脚本の執筆を手掛ける一方、1976年、文芸同人誌団体「誓い馬同人会」を設立し、同人誌「誓い馬」を発行。同会の歴史研究部門では、日本史、特に幕末・新選組を中心に研究を続け、その成果が、1989年、『散華 土方歳三』として結実。その後、歴史雑誌や単行本などで、源平から幕末までの日本史の各時代についての評論や歴史エッセーを数多く執筆。今年5月には、『散華 土方歳三』の姉妹編として、土方と彼を巡る人々を描いた小説集『群華―土方歳三と巡る人々』を五稜郭タワーより発行。

主要な著作

『因説 新選組史跡紀行』（学習研究社） 『散華 土方歳三』（新人物往來社）
『霸王 織田信長』（徳間書店） 『土方歳三 散華』（アース出版）
『散華 土方歳三』（五稜郭タワー 第三刷改訂版 現在、第7刷）
『いつかの日のために―舟木一夫の歩く道』（白石書店）他

平成30年

5月19日(土)

16時30分～18時00分

(開場：16時00分)

定員：150名 参加料：無料

会場：函館市中央図書館 視聴覚ホール
(函館市五稜郭町26番1号)

※公共交通機関のご利用にご協力ください。

申込み：直接、会場にお越しください。
尚、会場定員(150名)に達し次第、締切り致します。

【問い合わせ】五稜郭タワー株式会社 講演会担当

電話：0138-51-4785 (9:00～17:00)

www.goryokaku-tower.co.jp

